

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	合成構造規準検討小委員会		主 査 名：河野昭彦 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼コンクリート合成構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：福元敏之
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準の改定方針の策定 ・ 合成構造に関する規準，指針類の位置付けの明確化 ・ 合成構造に関する親規準のあり方の検討 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：河野昭彦 (九州大学) 幹事：福元敏之 (鹿島建設)，鈴木英之 (安藤建設) 委員：立花正彦 (東京電機大学)，称原良一 (清水建設)，西村泰志 (大阪工業大学)，土井希祐 (新潟大学)，蛭川利彦 (日本設計)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2008 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：多様化する合成構造の設計規準の確立に向けて 参加者数 132 名 『構造部門 (SCCS) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準の改定方針を提案し，PD で議論した。 2. 合成構造の規準，指針類は 3 レベルの階層化を提案し，PD で議論した。 3. 合成構造の親規準を策定することとし，あるべき姿について検討した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 本小委員会は廃止するが，残された課題である合成構造の親規準の策定は，次年度新設される合成構造設計規準作成小委員会に引き継ぐ。